各市の一人会派（無所属議員）の取扱い比較

市名	一人会派	議会基本条例の規定	逐条解説等	政務活動費	代表者会議	議会運営委員会	備考
会津若松市 (定数 28 人)	○	(会派) 第 4 条 議員は、議会活動を行うに当たり、会派を結成するものとする。 2 会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する議員で構成する。 3 会派は、政策決定、政策提言、政策立案等に際して、会派間で調整を行い、合意形成に努めるものとする。 4 議長は、必要があると認めるときは、会派の代表者の会議を開催する。 5 会派の代表者の会議に関し必要な事項は、別に定める。	一人会派に関する記述なし	会派（所属議員一人の場合を含む。）のみに交付 議員個人への交付なし ※会派所属議員 1 人につき月 35,000 円	所属議員が 3 人以上の会派が正式メンバー 2 人以下の会派はオブザーバー	所属議員が 3 人以上の会派から 7 人 2 人以下の会派はオブザーバー	一人会派 3 会派 3 人
大津市 (定数 38 人)	○	(会派) 第 11 条 議員は、議会活動に資するため、政策を中心とした同一の理念を有して活動する会派（以下「会派」という。）を結成することができる。 2 会派は、次に掲げる役割を果たすものとする。 (1) 議員の活動を支援すること。 (2) 政策の立案及び提言並びに議案等の審議及び審査のための調査研究を行うこと。 (3) 会派間で相互に協議及び調整を行い、円滑かつ効果的な議会運営に努めること。	一人会派に関する記述なし	会派（所属議員一人の場合を含む。）のみに交付 議員個人への交付なし ※会派所属議員 1 人につき月 70,000 円	3 人以上の会派が正式メンバー 2 人以下の会派はオブザーバー	3 人以上の会派が正式メンバー 2 人以下の会派はオブザーバー	一人会派 5 会派 5 人
取手市 (定数 24 人)	×	(会派) 第 14 条 会派は、2 人以上により結成された議員の団体とする。 2 会派について必要な事項は、取手市議会会派規程（平成 22 年議会訓令第 2 号）で定めるものとする。	一人会派に関する記述なし	会派及び無会派議員に交付 ※会派は所属議員 1 人当たり年 100,000 円、無会派議員は年 100,000 円	メンバー外（案内もなし）	委員外議員として傍聴	無会派議員 1 人
可児市 (定数 22 人)	×	(会派) 第 5 条 議員は、議会活動を行うために会派を結成することができる。 2 会派は、政策を中心とした同一の理念を共有	同一の理念を持った議員 2 人以上の集団を会派として規定	議員に交付（会派に属する議員は会派に交付） ※議員 1 人当たり年	会派代表者会議は改選時のみ（無所属議員も参加可）	委員外議員として傍聴（発言は委員会の許可）	無所属議員 2 人

		する議員で構成する。 3 会派は、政策の立案、提言等に関し、必要に応じて会派間で調整を行い合意形成に努めなければならない。		240,000 円			
鳥羽市（定数13人）	—	会派に関する規定なし	-	議員 ※議員1人当たり、年156,000円	—	—	会派制をとってない。
新潟市（定数50人）	×	（会派） 第7条 議員は、基本的な理念を共有する議員をもって会派を結成することができます。 2 会派は、必要に応じて会派間の調整に努め、円滑かつ効果的な議会運営を図ります。 3 会派は、議員の意思を尊重しその活動を支援するとともに、政策提案のために調査研究を行います。 4 会派は、その活動について、市民に対して説明するよう努めます。	会派は2人以上（政務活動費交付条例に規定）	会派及び会派に属さない議員 ※会派は所属議員1人当たり月150,000円又は月30,000円。月30,000円を選択した会派の所属議員及び無所属議員には月120,000円	無所属の会も会派の一つとして出席 ※過去、無所属議員がいたときは出席していない。決定事項のみ伝達の扱い。	無所属の会からも委員を選出 ※過去、無所属議員がいたときは、委員外議員として出席していた。	無所属の会（3人）
長岡市（定数34人）	×	（会派） 第6条 議員は、議会活動を行うため、会派を結成することができる。 2 会派は、政策等において同一の理念を共有する議員で構成し、活動する。 3 会派は、必要に応じて他の会派との調整に努め、円滑かつ効果的な議会運営を図るものとする。	一人会派に関する記述なし	会派（会派に所属しない議員は、所属議員数が1人である会派を結成しているものとみなす）に交付 ※会派所属議員1人当たり月60,000円	メンバー外（案内もなし）	委員外議員として傍聴（発言は委員会の許可）	無所属7人
柏崎市（定数22人）	×	（会派） 第7条 議員は、議会活動を円滑に実施するために、会派を結成することができる。	一人会派に関する記述なし	会派（所属議員が1人の場合を含む。）に交付 ※議員1人当たり月40,000円	無所属は案内なし。出席する場合は傍聴扱い。	無所属は案内なし。出席する場合は傍聴扱い。	現在は、無所属議員なし
妙高市（定数16人）	○	会派に関する規定なし	—	議員に交付（会派なし） ※議員1人当たり年180,000円	代表者会議なし	委員に選出されなかった場合は、傍聴扱い	一人会派2、無所属2人 一人会派は、国政政党に属する場合のみ認める。
糸魚川市（定数18人）	○	（会派） 第6条 議員は、議会活動を行うため、会派を結成することができる。 2 会派は、政策を中心とした同一の理念を有す	一人会派に関する記述なし	会派又は議員に交付 ※会派所属議員1人当たり月15,300円、無所属議員月15,300円	開催実績なし	一人会派・無所属9人から3人を選出。委員に選出されなかった場合は、傍聴扱い	一人会派6、無所属3人

		<p>る議員で構成し、政策立案、政策決定に関し、合意形成に努めるものとする。</p> <p>3 円滑な議会運営のため協議・調整の場として、各会派の代表者からなる会議を開催することができる。</p>					
--	--	--	--	--	--	--	--